

令和2年度第1回 第4期狭山市地域福祉計画策定専門部会 会議録

開催日時 令和2年7月16日(木) 午後3時40分～4時45分
場 所 入曽地域交流センター 大ホール
出席者 諏訪委員(部会長)、田淵委員(職務代理者)、朝賀委員、宇田委員、
小野委員、成瀬委員、細井委員、堀委員、山口委員、南川委員、
安永委員
欠席者 中村委員
狭山市 鷹野福祉こども部次長(福祉政策課長兼務)、阿部福祉政策課主幹、堀
越福祉政策課主査、小田切福祉政策課主査
業 者 地域計画(株)埼玉営業所担当者
傍聴者 1名

1 開会

2 部会長選出及び職務代理者の指名

(事務局から推薦された諏訪委員を委員一同承認)

(職務代理者として、諏訪委員長が田淵委員を指名)

3 部会長あいさつ

事務局 (会議成立の報告)
(欠席者の報告)
(傍聴者1名入室許可伺い、入室)
(資料確認)

4 議事

(1) 骨子案について

部会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料2「第4期狭山市地域福祉計画骨子案イメージ」、資料3「本日の論点」、資料4を説明)

部会長 今度の計画はこういう方向、イメージでいいかというレベルと理解してよいでしょうか。

事務局 はい。課題が様々あり、どのように対応していくか考えながら作っていければと思っています。

部会長 今回は行政計画の性格が強いとのことですので、市民の活動をどう応援するのかという行政の役割が大きくなると思います。そうすると、

基本目標についても、数は3つくらいでいいとしても、これまでのものと単純に同じとするのではなく、KJ法なども使いながら中身を議論してから設定する必要があるように思います。

事務局 では、本日の基本目標の案のもとになった考え方について説明をいたします。

部会長 (資料5-1「福祉の視点でみた狭山市の現状と課題」、資料5-2を説明) この資料への意見や日頃大切と思うことなどを出していただき、柱を考えていければと思います。ご意見をお願いします。

委員 目的がわからないと目標も立てようがないと思います。また、手帳所持者が増えた理由は、対象者が増えた、持つと便利だからとった、行政サービスが評価され転居してきた人が増えたなど、さまざまに読めると思います。行政が、相談支援員などのバックアップする人をどうバックアップするのかということが大きく出てくれば、市民の安心につながるのかなと思います。

情報について言えば、子どものことを扱っている短大にいても、知らない情報がありますので、伝わらない人も多くいるでしょう。今時の情報伝達をどうするかということもあると思います。

委員 仕事柄、狭山市以外の自治体に関係していますが、問題は中身だと思います。言うは易く行うは難しです。

委員 3期計画までの成果はどうなったのか、疑問を持ちます。地域に、福祉の担い手や福祉に関心を持つ人がだんだん減ってきているように感じます。

部会長 次の世代に伝えていかないと、行き詰ってしまうと思います。民生委員さんと障害福祉に関係する人など、分野を超えてつながる仕組みをつくるのが大事だと思います。

委員 コロナで人が繋がれなくなっているのが大きな問題で、これを機会に福祉に関わっていた人が減ってしまうのではと感じます。反面、社協の活動の中では、生活支援など、今までと違う形でかかわる人が出てくればいいと思います。

部会長 コロナによってサロンに出てこれないことが、出るだけではない新しいつながりを考えるチャンスにもなると思います。

委員 説明を十分消化できていませんが、名称は大切だと思っています。名称がはっきりすれば、やることが明確になり、目標に対する提案もしやすいと考えます。

部会長 この目標については、どうですか。

委員 かみ砕けてはいませんが、5-2の資料を見る限り、フレーズとしてはいいと思います。

部会長 今日は初回なので、目標の話と細かな話と両方のアプローチがあって

- いいと思います。
- 委員 子ども食堂に関係することを民間に任せたままですと大変なことになると思っています。防災対策のレベルです。休校、在宅勤務というなかでの食料支援はほんとうに大変です。枠組み、バックアップ体制をきちんと考える必要があると考えます。初めの3年間の支援だけでなく、そのあとについても含めた内容が計画にあれば、希望がもてていいと思います。
- 委員 計画の成果が上がっているのであれば、継続することは大切だと思います。行政の立場からすれば、いろいろな市民がいますので、全体を網羅することは大切ですが、優先順位があってもいいと考えます。
- 委員 福祉に特化したものか、市民を巻き込んで社会を変えるということなのか、まだ考えが整理できていません。手帳を持っている人だけでなく、さまざまな団体なども含め、縦割りでなくみんなで活動を進めていくために、行政の支援が必要なのかなと思います。
- 委員 資料11、12ページをみると、子育てに関しては心の問題も多いように思います。相談窓口がないというのも気になります。そうした点についても目を向けられればと思います。
- 委員 周辺市と比較して狭山市はがんばっていると感じている人は周りにたくさんいますが、それが伝わっていないということもあると思います。子育てをはじめさまざまな情報が細かいところまで届く仕組みがあるといいと思います。
- 部会長 今日は、どの程度まで詰めていけばよいでしょうか。次回はどうなっていますか。
- 事務局 次回の審議会は10月15日ですが、その間に専門部会を8月20日、9月24日の2度開催させていただきたいと考えています。次回の専門部会では、施策が議題になる予定です。具体的な施策の検討に入ってから目標に戻ってご意見をいただければいいと思います。目標の修正は可能です。9月24日の段階では、計画書の冊子ができているイメージです。
- 部会長 今日は抽象的な話ですが、8月24日には中身が書き込まれたものが必要ですね。
- 事務局 2回の検討を前提に協議を行い、時間が足りない場合には10月15日の予備を活かしたいと思います。
- 部会長 事前に案を送付いただきたいと思います。
- 事務局 本日、委員さんが確定しましたので、次回以降、対応いたします。
- 部会長 行政計画として、今回の地域福祉計画には、漏れのない相談体制を入れるべきだと思います。また、不登校などについての相談体制の仕組み、民間だけでは無理なものについて行政がどうサポートするかということをしつかりと入れる必要があると思います。

委員の皆さんのほうも、行政にしてほしいことについて考えたことを事務局に伝えたほうがいいと思います。

委員 5-2の資料に「健康で安心して暮らせる地域づくり」とありますが、コロナで「安心」の定義が変わりましたので、それを踏まえる必要があると思います。「安心」を真ん中に据えて考えていただければと思います。

事務局 これからの会議は2時間を予定しますので、よろしくお願ひします。ご意見をいただく際は、メールを活用することも考えます。資料にメールアドレスを記載しています。メールをお送りいただく時は、どなたかから送られたものかわかるようにお願ひします。

委員 資料はメールでお願ひします。

部会長 メールだけでなく、郵送もご検討願ひします。
以上で進行を事務局にお返しします。

5 その他

事務局 次回は8月20日（木）13：30からです。場所は市役所701・702会議室です。資料送付のため、可能でしたらメールアドレスのご提供をお願ひします。

6 閉会